

第10回の復習課題

ex10-8.c

1. `void`型の関数 `pexit()` は、「終了します」と出力してからプログラムを終了 `exit()` する関数である。
2. `double`型の関数 `gratio()` は、黄金数 $\frac{1+\sqrt{5}}{2}$ の値を返す関数である。
3. 関数 `pexit()` および `gratio()` を定義するとともに、これらの関数を用いて、1つの実数 `$a` の値を入力すると `$a:b` が黄金比 $1:\frac{1+\sqrt{5}}{2}$ となるような実数 `$b` の値を出力するプログラム **ex10-8.c** を作成し、`kiso2` コマンドを用いて提出しなさい。ただし `$a`, `$b` の入出力は繰り返し行えるものとし `$a` の値に 0 以下の値が入力されるとプログラムは「終了します」と出力してから終了するものとする。

実行例：

```
t180900@s01cd0542-160:~/kiso2-2018/ex10$ ./ex10-8
? 1
1.618034
? 2
3.236068
? 5
8.090170
? 9
14.562306
? 0
終了します。
```

[第11回基本課題へ](#)

From:

<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/> - **www-slab.math**

Permanent link:

<https://www-slab.math.ryukoku.ac.jp/lecture/kiso2/rev10>



Last update: **2018/12/06 13:58**